

平成 17 年 9 月 15 日

土木学会コンクリート委員会
平成 17 年度 第 2 回規準関連小委員会 議事録(案)

1. 平成 17 年 9 月 15 日 (木) 15:00~17:30
2. 土木学会 A 会議室
3. 出席者 (敬称略)

橋本親典委員長, 鎌田敏郎幹事長, 江口和雄, 小川洋二, 栗田守朗, 新藤竹文, 杉山隆文, 田中秀樹, 椿龍哉, 寺村悟, 久田真, 三谷芳弘, 森濱和正, 横関康祐, 中村雅之 (記録)

4. 配布資料

- 2-0 平成 17 年度 第 2 回規準関連小委員会 議事次第
- 2-1 第 1 回規準関連小委員会 議事録(案)
- 2-2 土木学会コンクリート委員会規準関連小委員会委員構成(案)
- 2-3 コンクリート標準示方書 各部会の改定方針(案)
- 2-4-0 作業の内容と依頼
- 2-4-1 2005 年制定コンクリート標準示方書[規準編] 土木学会規準および関連規準 目次
- 2-4-2 2005 年制定コンクリート標準示方書[規準編] J I S 規格集 目次
- 2-4-3 200・年制定コンクリート標準示方書[規準編] 土木学会規準および関連規準 目次
- 2-4-4 200・年制定コンクリート標準示方書[規準編] J I S 規格集 目次
- 2-4-5 土木学会規準および関連規準 (2005 年制定コンクリート標準示方書[規準編])
- 2-4-6 土木学会コンクリート委員会 規準関連小委員会 フレッシュWG 資料
- 2-4-7 補修, 注入材等WG 2005 年制定コンクリート標準示方書[規準編] 土木学会規準および関連規準目次
- 2-4-8 補修, 注入材等WG 2005 年制定コンクリート標準示方書[規準編] J I S 規格集 目次
- 2-4-9 表面含浸材の試験方法(案) 概要
- 2-4-10 表面含浸材の試験方法(案) 一般事項
- 2-4-11 土木学会コンクリート委員会規準関連小委員会委員構成(案) HP 用
- 2-5 硬化したコンクリートからの微量成分溶出試験方法(案)
- 2-6 コンクリート標準示方書 2005 年制定 [規準編]

5. 議事

(1) 委員長挨拶および前回議事録の確認

1) 規準編は 2 年毎に改定する。改定部会とリンクしないが情報は得られる。平成 19 年の改定では講習会を行う。本年度末に「E PMA と微量成分」の講習会を行う。

2) 議事録の確認

・ (4) 委員構成・WG 構成について 「WG 構成の構成メンバーを一部変更」
→ 微量成分WG 主査は杉山先生に決定

・ (6) 各WG からの活動報告: ホームページWG
「・・・新規準をHP 上でまとめて紹介する予定」
→ 「・・・新規準のリストを作成する」

・ 出席者の修正および追加 寺村→五味 追加 小川

3) 自己紹介 寺村, 三谷, 久田

(2) コンクリート常任委員会の報告

1) 資料 2-2 規準関連小委員会委員構成 (案)

- ・ 6 月 21 日の第一回理事会にてWG メンバーが承認されました。
- ・ ヘルスモニタリング小委員会から 1 名をオブザーバーとして参加することに決定した。
- ・ 本委員会は 3 種の委員会である。

- ・ 9月6日の常任委員会でE PMA法は土木学会規準になる。番号はG番号で、J S C E - G 5 7 4である。
 - ・ E PMA法についての論文を土木学会論文集に掲載する。
 - ・ E PMA法と微量成分小委員会と合同で講習会を開催する。
- (3) 各WGからの活動報告 資料 2-3 各部会の改定方針(案)
- 1) 設計部会 二羽先生主査
 - ・ 3月に設計例（コンクリートライブラリー116～118）が出る。実務者向け教科書となるものとして、性能照査型になった設計例の刊行が望まれる。
 - 2) 施工部会 梅原先生主査
 - ・ 施工編の構成は2本立てとする。「性能照査型施工編」と「施工マニュアル編」である。
 - 3) 維持管理部会 武若先生主査
 - ・ 基本方針として、「維持管理」「維持管理標準」「維持管理マニュアル」の3構成とする。
 - 4) ダム部会
 - ・ ダムで使うコンクリートについてのみにするか、設計も入れるのかを議論する。
 - 5) 規準部会
 - ・ 性能照査型になったことと併せて、規準編の体系も見直す必要があると思われる。
「補修では、コアとなる試験体を決めて試験する例がある」
 - ・ 現行は新規材料であり、補修となると新たに考えていく必要がある。
 - ・ I S OにJ I Sを合わせたため、使いにくくなったとの指摘もある。体系化について議論したい。
 - ・ 必要な試験方法は決めなければならない。HPで要望を聞いたらどうか。
 - ・ 今後は、求められる試験方法を入れていく方針とする。
- ・ 鎌田：2007年版の示方書の各編は、それぞれの進捗状況に応じて順に出版する。すべての編について、それぞれ常任委員会で十分な査読を行った後に出版するのが望ましいので、特に一度に出版することにこだわらない。舗装編については、舗装委員会で扱うこととなった。
- (4) 資料 2-4-0 ホームページWG「作業内容と依頼」
- ・ 現行のHPには2003年のものが掲載されている。新しい事項についてはポップアップ式にして表示する。
- (5) 資料 2-4-1～資料 2-4-11
- ・ 「椿先生(案)」あるいは「参考」などの表示は入れられないのか。
 - ・ コンクリート関連はJ C IからJ I Sに上げた。再生骨材は「通産省」からJ C Iに委託している。
 - ・ 土木学会規準からJ I Sに上げるケースはどのようなものか。その手順はどうか。
 - ・ 資料 2-4-4 「新8. コンクリート用砕石粉 (TR A 0015-2002)」 TRは有効期限3年間であり、その間にJ I Sに記載するかどうかを決める。

規準編HPに関して：

- ・ JISに関しては、2005年版[規準編]の目次を載せるのみとし、最新の情報はJISのHPをご覧いただくよう記述する。（頭に「改」や「新」をつけたリストはJISについては作成しない。）
- ・ 土木学会規準に関しては、現在の作業方針通り。（頭に「改」や「新」をつけたリストはJISについては作成し、概要やイメージを提供する。）
- ・ 規準に関する要望（今後の希望も含めて）を受け付ける欄がHP上にあってもよいのではないか？という意見有り。
- ・ 各WGで作成した土木学会規準リストについては、HP掲載前に特に委員会の承認は不要で

あり、各WGでの確認作業に任せる。

(6) 資料 2-5 「硬化したコンクリートからの微量成分試験方法(案)」杉山

- ・ 意見は一ヶ月以内にメールで杉山先生へ送り，WGで揉んで，12月2日の規準小委員会に諮る。
- ・ 次の常任委員会11月7日，次々常任委員会は12月9日である。
- ・ 「表7 普通ポルトランドセメントの微量成分含有量」の空欄は，追加実験をおこないデータを整理中である。
- ・ 本件に関しては2003年に，コンクリートライブラリー111号「コンクリートからの微量成分溶出に関する現状と課題」として刊行されている。

(7) 資料 2-6 「コンクリート標準示方書 2005 年制定[規準編]改定資料(案)」

- ・ 本資料は，刊行される予定がない。
- ・ 橋本：HPについて記入するか，活動概要に入れたらどうか。HPにも入れる。
→あとがきに入れます
- ・ 本文 3. 改定の基本方針 表2が抜け落ちている。

(8) その他

- ・ E PMA・微量成分の講習会を来年度初め，4月か5月に，東京会場（土木学会）のみの一会場で開催する。コンクリート技術シリーズとして刊行する。
- ・ 梅沢委員の所属名を確認する。（HPの掲載リストと異なっている。）
- ・ 次回委員会
日時：12月2日（金）15:00～17:00
場所：土木学会EF会議室

以上